

委員会レポート

常任委員会

総務厚生

何事にも十分な説明と理解が必要

9月15日に本委員会を開催し、次のことについて所管事務調査を行いました。

- ①白鷹町第四次総合計画の総括（中間）について
- ②白鷹町第三次行財政改革大綱の総括について
- ③旧荒砥駐在所用地購入について
- ④ごみ処理手数料の改正などについて
- ⑤し尿処理の状況について
- ⑥固定資産（土地）の評価について
- ⑦置賜地域周産期医療ネットワーク（案）について

各担当課から説明を受けました。



旧荒砥駐在所

委員から①について、限られた財政のなか、第5次総合計画の策定では、何に絞って力をいれていくのかという問いに

第4次の時は、ある程度将来を見据えていたが、今住民が関心を持っていることは、今の生活をどうしていくかという点にあるので、この点をどう取り入れていくか問われている②では、当面何に取

り組むのか。という問いに共同調理場と保育所の民営化は行っていく必要があるが、十分な説明と理解を得ながら行っていくと答弁がありました。

③では購入理由の中に、地域公民館（分館）に隣接し、避難所としての活用も視野にとあるが、周辺には多くの避難所があるうえ、分館は地域の方が負担をしながら、建設や維持管理を行ってきた。他の分館との整合性をどうするかという問いにさらに検討していくとの答弁がありました。

大ホールは取り壊しが適当

産建文教

9月16日に本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査を行いました。

「政府備蓄米をルールに基づき買い入れることを求める請願」は、米価が大暴落する危険性を回避するため緊急に買い入れすべきとして採択しました。

「日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める請願」は、農産物輸入自由化は農業破壊につながるので反対ということで採択となりました。

所管事務調査では産業振興課から、

- ①白鷹町空き店舗利用促進対策事業（仮称）は、町内の中心街地の空き店舗を利用し、雇用の拡大を促進する企業の育成をはかるために100万円を上限として、空き店舗を利用する方に助成するもの
- ②豚舎環境問題の現状は、水質汚濁防止法の基準を上回る放流は行われていないし、臭気の苦情件数も減ってはいるが臭いの範囲が広がっています
- ③パレス松風の施設管理については、白鷹町ふるさと森林公園指定管理者仕様書」の説明を受けました。



現地調査

建設水道課からは、21年度の除雪事業計画と地域コミュニティ克雪支援事業の説明がありました。

教育委員会から、中央公民館・大ホール施設に関する庁内検討中間報告がありました。

中央公民館の改修に必要な額は3億から3億5000万円、大ホールは2億円ほどかかります。このことから中央公民館はリニューアルして機能を充実させる、大ホールは取り壊しをするのが適当との中間報告（案）がありました。

最後に、町内のナラ枯れの状況を現地調査しました。